

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> →変更:www.hokjioka.net E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



《写真説明》'15.5/中旬
「余市農業実習」好天下、
耕し畝を作り、各自選んだ苗
植え。(2回目は生育/草取り)

INDEX

P1: 巻頭言/
P2: ヒューマントラスト/
スクール動向、会費納入、他
p3:「一貫教育・学校」私見
p4-5 教育大学生第一回実習
～授業から学ぶ、他
p6-7: ↓ 行事、レク、他
↓ 子ども館体験会
p8: エッセー、カレンダー、他

「核兵器」と原子力発電所 ～保有し、推進したい安倍晋三首相～

弁護士 森越 清彦 (函館)

「小型であれば、核(兵器)を日本が保有しても憲法違反ではない」

(2002.5 - 安倍首相の早稲田大学での講演)

「トルコ・サウジアラビアとの間に原発、技術輸出を合意した」(2013.3月.5月)

「中断していたインドとの原発輸出協議再開」(2013.6 - 安倍首相の歴訪)

「原発を簡単には辞められない。再稼働は積極的に進める」(2015.3 首相の衆議院予算委員会答弁)

つい先日、6月4日の衆院憲法審査会においては自民党自薦の憲法学者でさえ「集団的自衛権の行使は、憲法9条に違反する」と明確に述べたが、これは「参考意見に過ぎない」として安倍首相は一蹴した。憲法9条の枠を遥かに超える日米協議での合意を国会審議もなく先行させ、いわゆる「安保法制」の今国会通過を諦めない現政権の暴走エネルギーの源泉は、「日本を戦後レジュームから早期に脱却させ、『世界の大国』として再登場させたい」とする安倍首相の右傾的保守思想とそれを支える組織の悲願だからだ。そのために、この「悲願」の実現は、国民多数の「反対」「説明不足」の声を無視しても強引に進められようとしている。

かつて防衛大臣を務め、安倍政権の一時期自民党幹事長にあった石破茂氏は「原発を維持するということは、核兵器を作ろうと思えば一定期間のうちに作れるという『核の潜在的抑止力』にもなっている」「原発を止めれば・・・実際に核(兵器)を持つまで5年や10年かかる。」「原発の技術と・・・日本のロケット技術・・・この二つを組み合わせれば、数か月から1年と言うかなり短い期間で効果的な核保有を現実化できる。」と公言している。

(p3に続く)